

テーマ	手法	これまでの課題	これまでの取組み	見えてきた課題	今後の試み
全体	WG イベント等	上下流の相互理解が不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成22年）流域圏住民の視点から、課題と問題解決手法の検討、地域部会への問題提起・提案を行う場として市民会議が開催された。</li> <li>（平成23年）一色干潟などの「海」の現状を知る見学会を行った。</li> <li>（平成23年）森の健康診断に参加し、「山」の現状を知る見学会を行った。</li> </ul>	<p>矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動</p> <p>市民部会（市民会議）としての流域連携テーマの議論 流域連携テーマという枠に絞り込まない議論の必要性</p> <p>地域部会（山川海）の話題・課題を把握できるシステム</p>	<p>川岸の利活用の議論</p> <p>10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化</p> <p>山川海合同勉強会の企画・開催（頻繁な開催）</p> <p>流域住民への情報発信</p>
		市民会議を情報共有の場として構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成23年）上流から下流まで「山・川・海」を知る2日間ツアーを開催した。</li> <li>（平成23年）国土交通省、愛知県からの情報提供を通し、今後の河川事業を学ぶ会を行った。</li> <li>（平成23年）市民有志による市民主導の運営を提案した。</li> <li>（平成24年）市民に加え、行政、森林組合、学識者の連携した運営を提案した。</li> </ul>		
		市民部会（市民会議）への参加者減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成26年）「ごみ・流木」「土砂」「木づかい」の3つのテーマを抽出し、それぞれ主務担当者を設け、活動を行うこととなった。</li> <li>（平成30年）ワークショップ形式で、流域の上下流の課題、昔と今の変化、流域市民に伝えていきたいことを流域マップに示すとともに、意見のカテゴリライズを行った。また、流域連携を代表する標語を作成した。</li> <li>（令和元年）各地域部会が抱える課題を懇談会全体で共通認識とすることを目標として、矢作川を巡るバスツアーの開催を提案した。</li> </ul>		
流域連携テーマ	ごみ・流木 （海部会主体）	<p>連携を進めるために現場を見る機会が必要</p> <p>山づくり・木づかいの方針にあわせて、ごみも目標設定が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成25年）海部会主導で三河湾におけるごみ調査を行った。</li> <li>（平成27年）山部会と協働して、東幡豆のトンボロ干潟周辺のごみの現状を確認した。</li> <li>（平成28年）海ごみ・川ごみの問題について、全国的な活動を実施している一般社団法人JEANおよび全国川ごみネットワークから、ごみ問題に関する最新の知見について、情報共有を行った。</li> <li>（平成28年）愛知県が取り組むごみ学習プログラムの内容について情報共有を行った。</li> <li>（平成29年）22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会主催の「藤前干潟エクスカージョン」に参加し、藤前干潟の清掃活動やごみ焼却場を見学した。</li> </ul>	<p>矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動</p> <p>市民部会（市民会議）としての流域連携テーマの議論 流域連携テーマという枠に絞り込まない議論の必要性</p> <p>地域部会（山川海）の話題・課題を把握できるシステム</p>	<p>山川海合同バスツアーの開催</p> <p>農業や工業の団体との関係構築</p>
	土砂 （川部会主体）	山川海で市民ができること、管理者の立場から土砂の在り方をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成24年）国土交通省からの情報提供を通じて土砂管理を学んだ。</li> <li>（平成27年）川部会主体の勉強会として、小渋ダムの土砂バイパスを視察し、総合土砂管理の知見を深めるとともに、土砂管理検討委員会の進め方について意見交換を行った。</li> <li>（平成26年～平成29年）三河湾の干潟・浅瀬造成に関する行政計画や事業内容、愛知県が実施した海底ごみ・生き物調査の結果を情報共有するとともに、鳥類調査を通じて干潟や背後の土地利用の問題を共有した。</li> <li>（令和元年）小渋ダム土砂バイパス運用後の現地視察を開催した。</li> </ul>		
	木づかい （山部会主体）	上流の木を下流の人に使ってもらいたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成26年～令和元年）木づかいライブ・スギガラキャラバンは、流域内のみならず、名古屋や東京への出展等を通して認知度が拡大している。</li> <li>（平成26～平成30年）流域ものさしを流域共通のアイテムとし、流域の市民に対して周知を進めている。</li> </ul>		

課題	テーマ	これまでの課題	これまでの取り組み	見えてきた課題	今後の試み
人と山村	流域圏山村再生担い手事例集	山村の担い手の発掘と交流・発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>(平成22~24年) 勉強会や市民会議を通じて、山の課題の検討・整理、山部会の出発点を共有</li> <li>(平成24年) 山村再生に関する事例集の対象者の検討(農林業の担い手)</li> <li>(平成25年~平成27年) 山村再生担い手づくり事例集Ⅰ~Ⅲの作成</li> <li>(平成28年) 山村再生担い手づくり事例集 その後いかがお過ごしですか?プロジェクト</li> <li>(平成28年) 事例集交流会開催の検討・計画</li> <li>(平成29~令和元年) 事例集交流会の開催(根羽村、西尾市佐久島、岡崎市額田)</li> <li>(平成29~平成30年) 「山村再生」→「流域圏」に改称し、流域圏担い手づくり事例集Ⅰ~Ⅱを作成</li> </ul>	流域圏担い手づくり事例集の成果の整理、流域市民への発信方法の検討	次年度の山部会、10年誌編集委員会でのとりまとめと意見交換
	山村ミーティング	林業従事者の現状把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>(平成22~24年) 勉強会や市民会議を通じて、山の課題の検討・整理、山部会の出発点を共有</li> <li>(平成24年) 若者ミーティング(1ターンなど)を矢作川流域山村ミーティングに改称</li> <li>(平成25年) 上矢作における山村ミーティングの試行(林業1ターン同士の交流)</li> <li>(平成26年) 串原農林と根羽村森林組合の意見交換に関する情報共有、森林組合の若手(岡森フォレスト等)の交流検討、流域フェアトレードの概念の共有</li> <li>(平成27年) 北海道中川町の「きこりまつり」の紹介と矢作川流域で開催する場合の課題整理、他テーマとの連携模索</li> <li>(平成28年~令和元年) 矢作川流域林業担い手100人ヒヤリングの準備・実施、矢作川感謝祭への参画検討・参画(流域の4つの森林組合、農協、東幡豆漁協の参加達成)</li> </ul>	林業担い手100人ヒヤリングで得られた結果の活用方法の検討	森づくりガイドラインの策定のためのミーティングを林業の担い手とともに実施(必要に応じて、山村ミーティングと森づくりガイドラインの融合を検討)
森林	森づくりガイドライン	他部会とのコミュニケーション・出発点の共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>(平成22~24年) 勉強会や市民会議を通じて、山の課題の検討・整理、山部会の出発点を共有</li> <li>(平成24~令和元年) 時代に即した森づくりガイドライン作成の手法の検討</li> <li>(平成22~令和元年) 流域自治体の森林施策等(岡崎市水循環プラン・岡崎市森林整備ビジョン、豊田市100年の森づくり構想、とよた森林学校、水源基金、東京都や大阪府など森林施策 など)の情報共有、流域市村の間伐面積を収集し、その推移と要因について情報共有、国の施策等(水循環基本法、森林環境譲与税の目的と使いみち、農水省の水源の森林づくりガイドブック、林野庁整備課の水源涵養機能の高度発揮に向けた水源林造成事業のあり方について)の情報共有</li> <li>(平成22~令和元年) 森林整備と災害に関する情報共有(恵南豪雨、広島土砂災害、鬼怒川豪雨災害、九州北部豪雨)</li> <li>(平成27年) 荒山林業への視察による近自然森づくりの導入に関する検討、流域内の生態系サービスに関する基調講演と意見交換、流域内の主な森林・巨木の抽出と可視化</li> <li>(平成28年) 神奈川県山北町への視察による森林環境税を活用した環境保全の実態の把握、海部会との合同部会の開催(西尾市東幡豆)</li> <li>(平成30年) 流域の科学的根拠に基づいて議論を行う合同部会を開催(岡崎市額田)</li> </ul>	現地で働く林業従事者の視点に立った森づくりガイドラインの策定の検討	
	木づかいガイドライン	森林組合同士のつながりの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>(平成22~24年) 勉強会や市民会議を通じて、山の課題の検討・整理、山部会の出発点を共有</li> <li>(平成24~令和元年) 時代に即した木づかいガイドライン作成手法の検討、木づかい推進の実績共有(流域内外年間50~60箇所)</li> <li>(平成24~25年) 木づかいガイドラインの作成手法の検討(ブレーンストーミング等の実施)</li> <li>(平成26年) 木づかいガイドライン作成時の市民目線の重要性の認識、「さあ~しよう」という提案型のフォーマット作成、スギダラ矢作川支部設立に向けた意見交換</li> <li>(平成27年~令和元年) 木づかいライブ・スギダラキャラバンの実績の共有、木のある暮らしのアイテム(動く木のおもちゃ)の情報共有</li> <li>(平成28年) 木づかいガイドライン策定に向けた目標と項目の周知、全体会議における流域アイテム「流域ものさし」配布/私の流域物語の周知</li> <li>(平成29~令和元年) 木づかいガイドライン策定に向けた自治体へのアンケートの実施、回収、訪問の検討、労働参加型プレイスメイキングの実績周知</li> <li>(平成30~令和元年) 流域の森林組合の協働に関する意見交換と提案</li> </ul>	木づかいガイドライン策定に向けた、市民や公的機関の動向の把握	懇談会で築いた人間関係を活用した、木づかいガイドラインの策定
					流域の森林組合の協働、森林組合員の意見交換

# 出発点「矢作川の恵みで生きる」の共有

## 検討の進め方

山村をとりまく  
社会背景の変遷と  
望ましい将来像

### STEP1

過去と現在を  
**知る**

理解と情報共有を  
促進する

右に記載した事項について、具体的に「知る」機会を設け、情報共有を図る  
→ 市民企画会議  
→ 勉強会に対応

**実現に向けた  
課題と解決手法**

### STEP2

未来像実現に向けた  
課題と解決手法を  
**考える**

情報共有を踏まえ、まず「人の問題」をテーマに解決手法を検討

→ 市民会議  
→ 地域部会に対応

### STEP3

できることから  
活動を  
**実践する**

## 人と山村

## 森林

高度経済成長前から後へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自給的経済、自立、自治、誇りがあった。</li> <li>● 百業をやっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 薪炭林施業が行われていた。</li> <li>● 最上流域や額田地区ではスギ、ヒノキ人工林施業が行われていた。</li> <li>● 藤岡・小原・旧豊田・岡崎にはハゲ山も多かった。</li> </ul>
現代	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者が中下流の都市へ流出した。</li> <li>● 拡大造林によって広大な人工林が形成され、長期間管理し続ける必要があったが、その担い手がなくなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もともと林業地だったところでも、そうでないところでも、もうかるというもくろみと国策により、拡大造林（広葉樹からヒノキ、スギへ転換）を推進した。</li> <li>● 国産材を流通させる仕組みが輸入木材に比べて整わず、国産材の価格が低下し、林業が業として成り立たなくなった。</li> </ul>
近未来 (放っておくとどうなるか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山村における若者の就業機会が乏しい。就業できても定着できない。</li> <li>● 現代では、山村は過疎化、少子化、高齢化、核家族化が進行している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もともと林業地でなかった地域では、多くの所有者が素人山主で林業を知らない。</li> <li>● 管理が行き届かないため過密化した水消費型森林や放置人工林からの土砂流出・崩壊の危険性が増加している。</li> </ul>
望ましい 未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 限界集落、消滅する集落が増えていく。残された集落でも山村単独での自治や経済的な自立が困難となり、コミュニティが崩壊する。</li> <li>● 国、県、市町村ごと、部局ごとに目指す森林の姿がバラバラで、流域圏一体となった森林管理が行われていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 林業は利益を確保せざるを得ないことから、森林皆伐後の再生林の放棄が起こり、森林の水土保持機能が喪失する。</li> <li>● 不適切な林道・作業道・搬出路が作られ、放置され、土砂が流出し、崩壊の危険性が高まる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流域圏にとって望ましい山村のあり方は、収入は多くなくても安定した若者の仕事があり、山村の資源を持続可能なやり方で利用しつつ、経済的に自立すること。</li> <li>● 自然の恵みを利用できる知恵のある人が定住していること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 流域圏にとって望ましい森林は、自然の力で持続する生態系と人による持続的な維持管理下に置かれる生態系が最適に配置され、多様な生物が生息し、木材や水などの恵みを中下流にもたらしてくれる森林。</li> <li>● 木材生産を主目的として管理する森林と、水土保持機能の発揮を主目的として管理する森林を区分し、木材生産に適さない人工林を天然林に戻していく。</li> </ul>

## 実現のための課題と解決手法

森林の適切な管理は、まず山村の再生(担い手作り)から！

### 当面の課題1 誰がやるか(人と地域の問題)

課題

● 現金収入、仕事、医療、教育など、出発点に到達する以前の問題が山積。

解決手法(例)

● 既に自発的に始まっている優れた取組を集めた「山村再生担いづくり事例集」の策定を通じ、山村再生の担いづくりを支援する具体的な方策を検討する。  
● 上下流をビジネスサイクルでつなぐ産業振興の推進(中下流都市中心部での上流生産物販売拠点の設置など)

役割分担

市民・学識経験者・行政が、対等な立場で、一体となって推進していく。

山村再生のために  
先ず“人づくり”が必要  
そのうえで“森づくり”にも  
取り組む必要がある。

担いづくり事例集イメージ

山村再生担いづくり事例集

成功事例1

成功事例2

失敗事例1

.....

### 当面の課題2 何をやるか(森の問題)

課題

● 流域圏として統一性のある森林管理を行い、矢作川の森の恵みが中下流や海までいきとどくためのガイドラインが必要。  
● データ不足・研究の遅れによって、「植林こそが正しい」といった誤解を正すことが必要。

解決手法(例)

● 「矢作川流域圏の森づくり・木づかいガイドライン」の策定  
● モデル林の設定とモニタリング  
→ ガイドラインの検証のため、土砂を流す森、節水型森林の手本を作る。

役割分担

市民・学識経験者・行政が、対等な立場で、一体となってガイドラインを策定し、モデル林を設計、施業、研究し、モニタリングを行っていく。

行政・学識経験者・市民が対等な立場で、一体となって策定



課題	テーマ	これまでの課題	これまでの取り組み	見えてきた課題	今後の試み
海の生き物をとりまく課題	ごみ・流木の問題	<p>問題の構造の共有からの解決策への発展</p> <p>他部会との認識共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成25年）流木、人由来、生物影響ゴミの3種類を調査し、発生源を検討した。</li> <li>（平成26年）西の浜と佐久島で他団体や山・川部会メンバーと連携してごみ・流木調査を実施し、漂着ごみの実態把握と問題意識の共有化を図ることができた。</li> <li>（平成27年）山部会と協働して、東幡豆のトンボロ干潟周辺のごみの現状を確認した。</li> <li>（平成28年）海ごみ・川ごみの問題について、全国的な活動を実施している一般社団法人JEANおよび全国川ごみネットワークから、ごみ問題に関する最新の知見について、情報共有を行った。</li> <li>（平成28年）愛知県が取り組むごみ学習プログラムの内容について情報共有を行った。</li> <li>（平成29年）22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会主催の「藤前干潟エクスカージョン」に参加し、藤前干潟の清掃活動やごみ焼却場を見学した。</li> <li>（令和元年）22世紀奈佐の浜プロジェクトの進捗状況が周知され、マイクロプラスチックの問題について情報共有した。</li> </ul>	<p>目に見えるごみから、目に見えないマイクロプラスチック等の問題の共有</p>	<p>奈佐の浜プロジェクト等に目を向けた参加も視野）現状の把握</p>
	豊かな海の生物調査	<p>他部会を巻き込んだ調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成25年）ハンドブック等を活用して、東幡豆天然干潟、西浦地区人工干潟の2地点において、生き物調査を実施した。</li> <li>（平成26年～平成29年）三河湾の干潟・浅瀬造成に関する行政計画や事業内容、愛知県が実施した海底ごみ・生き物調査の結果を情報共有するとともに、鳥類調査を通じて干潟や背後の土地利用の問題を共有した。</li> <li>（平成27年）山部会と協働して、干潟の試験造成後の生物相の変化を確認した。</li> <li>（平成29年）海の栄養塩の問題に関する最近の話題として、流入負荷削減と海の水産資源の関係性について学んだ。</li> <li>（平成29年）八郎潟や油が淵での水質浄化に関する研究事例と水質浄化対策の技術的課題について情報共有した。</li> </ul>		
	豊かな海の再生	<p>「透き通った海＝豊かな海」であるという疑問の共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成30年～令和元年）アサリの減少原因を追究されている吉田漁業協同組合の石川組合長より、三河湾の現状について報告いただいた。</li> <li>（平成29年～平成30年）合同部会では、三河湾の現状を山部会、川部会に対して情報共有を行った。</li> <li>（令和元年）矢作川浄化センターを見学し、栄養塩の試験放流の進捗状況を確認した。また、試験放流による水質の変化について情報共有した。</li> </ul>	<p>「透き通った海＝豊かな海」ではないという認識の周知</p>	<p>流域のイベントや市民部会を通じた「豊かな海」の情報共有と発信</p>
海と人の課題	海と人の絆再生	<p>海部会が主導となる活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成26年）さまざまな場面でのアンケート調査等を通じて、子どもや保護者の海に対する意識やニーズを把握することができた。</li> <li>（平成27年）山部会との合同会議では、漁業者との懇談を行い、水質や砂の問題や新たな担い手の問題を検討・共有した。</li> <li>（平成28年～令和元年）流域のイベントへの参加（奥矢作森林フィスティバル、矢作川感謝祭、三河湾大感謝祭）によって、三河湾（海）の生き物が身近なものとなった。</li> </ul>	<p>継続した啓発が必要</p>	<p>海の生き物に触れ合うことによる上下流連携の継続</p>
	干潟・ヨシ原生	<p>ダムの上砂投入実験の範囲拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（平成25年）矢作川河口干潟の生き物調査及び矢作ダムの砂の実態調査を実施した。</li> <li>（平成26～平成27年）矢作ダムの砂を活用した干潟造成の試験施工について、関係機関の協力を得て実現した（H27.3.10矢作ダム砂の投入）。</li> <li>（平成27年～平成30年）干潟の試験造成後の生物相の変化を簡単な調査を行いながら意見交換を行った。</li> </ul>		

(余 白)

山部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成23年度	6月20日	WG山	第1回山の意見交換WG	8	【意見交換】 ○第4回勉強会(山地域)について ○第5回勉強会(川地域)について ○課題の抽出と解決方法について ○第3回市民企画会議(WG)について ○その他
平成23年度	7月7日	WG山	第2回山の意見交換WG	14	【意見交換】 ○海の勉強会の報告 ○第2回市民企画会議の開催報告 ○第1回川の意見交換会の開催報告 ○山の勉強会の開催に向けて ○課題解決手法等について ○その他
平成23年度	8月26日	WG山	第3回山の意見交換WG	15	【意見交換】 ○第5回勉強会の開催について ○山の課題解決手法等について
平成23年度	12月12日	WG山	第4回山の意見交換WG	8	【意見交換】 ○地域部会で報告する市民提案について
平成24年度	4月28日	WG山	第1回山部会WG(根羽)	21	【現地視察】 ○「根羽村のトータル林業」等の紹介
平成24年度	5月19日	WG山	第2回山部会WG(岡崎)	19	【意見交換】 ○根羽村森林組合からの説明 ○意見交換 【現地視察】 ○野生獣解体施設 ○優良施業林業地
平成24年度	6月16日	WG山	第3回山部会WG(恵那)	24	【意見交換】 ○旧宮崎村の山づくりのあゆみ ○岡崎市森林整備ビジョン ○意見交換 【現地視察】 ○松下薪材間伐作業現場 ○えなの森林づくり間伐モデル林 ○NPO法人福寿の里 ○奥矢作レクリエーションセンター
平成24年度	7月7日	WG山	第4回山部会WG(豊田)	19	【意見交換】 ○NPO法人「東農森づくりの会」串原支部の取り組み ○上矢作・串原・明智の林業 ○NPO法人「奥矢作森林塾」の取り組み 【現地視察】 ○「あいち森と緑づくり事業」による間伐地 ○加塩地域(「団地化」と利用間伐) ○あさひ製材協同組合 ○お試し体験住宅
平成24年度	8月24日 25日	WG山	第5回山部会WG(根羽)	20	【意見交換】 ○豊田市の森づくりの取り組み ○豊田森林組合の概要と取り組み ○農山村振興に関する市民・NPO等の取り組み ○豊田市チャレンジガバドについて 【現地視察】 ○根羽村森林組合
平成24年度	10月26日 27日	WG山	第6回山部会WG(岡崎)	26	【意見交換】 ○全体会議の開催報告 ○伊那谷の森で家をつくる会の取り組み ○山村再生担い手づくり事例集について ○山つくりガイドラインについて ○東京都市圏水源林の管理について ○木つくりガイドラインについて ○木つくりガイドラインについて ○木つくりガイドラインについて 【意見交換】 ○イギリス人が選んだ里山の暮らし方
平成24年度	11月16日	WG山	第7回山部会WG(恵那)	19	【意見交換】 ○第2回WG開催報告 ○山村再生担い手づくり事例集について ○東京都水道水源林の管理について ○木つくりガイドラインについて ○木つくりガイドラインについて ○木つくりガイドラインについて 【意見交換】 ○今年度の到達目標と第8回WGまでの到達目標について ○来年度以降の活動について ○川部会、海部会との連携について
平成24年度	1月11日 12日	WG山	第8回山部会WG(豊田)	25	【現地視察】 ○豊田森林組合木材センター ○2戸2戸住宅造成予定地 ○農山村定住応援住宅 【意見交換】 ○山村再生担い手づくり事例集について ○若者ミーティングについて ○森づくりガイドラインについて ○木つくりガイドラインについて
平成25年度	6月29日	WG山	第9回山部会WG(根羽)	21	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木つくりガイドライン ○矢作川流域山村ミーティングは「いっぺん寄ってみよいか〜結の炭家でアイトーンゆんたく」をきっかけにターン者同士の交流を通じて進めていくこととした ○矢作川流域木つくりガイドラインは3カ年かけて「プレレンスミーティング方式」で実施することとした
平成25年度	7月20日	WG山	第10回山部会WG(根羽)	12	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、木つくりガイドライン ○事例集は、山村の担い手のいる現場に行って、直接、現場の人たちの苦悩や喜び・課題に触れることを目的とした調査からはじめることとした
平成25年度	8月17日	WG山	第11回山部会WG(豊田)	15	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、木つくりガイドライン ○山の地域部会の役員の改選
平成25年度	9月14日	WG山	第12回山部会WG(豊田)	16	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、木つくりガイドライン ○矢作川流域森づくりガイドラインの進捗状況
平成25年度	10月21日	WG山	第13回山部会WG(豊田)	18	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木つくりガイドライン ○矢作川流域森づくりガイドラインは愛知県本庁林務課、豊田加茂事務所、西三河事務所を訪問しました新たに林野庁中部管理名古屋事務所、長野県本庁林務課、岐阜県本庁林務課、愛知県本庁林務課、愛知県本庁林務課に趣旨説明を目的とした訪問をした
平成25年度	11月9日	WG山	第14回山部会WG(豊田)	16	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木つくりガイドライン ○山村再生担い手づくり事例集の作成に向けて2団体にヒアリング調査を実施し、今後19団体にヒアリングを実施する
平成25年度	12月11日	WG山	第15回山部会WG(恵那)	26	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木つくりガイドライン ○森づくりガイドラインの作成に向けて、関連する自治体への意向把握結果の報告と、今年度検討するガイドラインの内容について話し合いを行った

山部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成26年度	5月16日 17日	WG山	第16回山部会WG(恵那)	26	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○昨年度は山村で活動している20の団体へ矢作川流域懇談会(以下、懇談会)として取材を行い事例集としてとりまとめた今年度も取材対象のエリア、団体を変えて実施していくこととなった ○今年度は昨年度に引き続き、矢作川流域圏に属する行政や市民の方々と森づくりに関するデータを収集し、情報共有を行う
平成26年度	6月12日	WG山	第17回山部会WG(根羽)	15	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、木づかいガイドライン ○事例集について各部会間の連携を進めることを目指して、川部会・海部会メンバーに取材への参加を呼びかけながら進めていくことが確認された
平成26年度	7月25日	WG山	第18回山部会WG(豊田)	24	【現地調査】 ○トヨタ自動車(株)の「新研究開発施設」(テストコース)の視察 【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域圏木づかいガイドラインについて根羽村独自の木づかい推進活動や「よた森林学校」の事例から学ぶ活動などの紹介を通じて、木の魅力と楽しみを考え、継続的な活動に導く行動について話し合いを行った
平成26年度	8月19日	WG山	第19回山部会WG(岡崎)	17	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○「山村再生担い手づくり事例集」は、年度内に20件以上の活動団体への聞き取りとレポート作成を行うことを目標とした ○矢作川流域圏森づくりガイドラインについて開催地である岡崎市における森づくりについて、市の林務課の方からご紹介いただいたき、流域圏の森づくりについて共有化が図られた
平成26年度	9月19日	WG山	第20回山部会WG(根羽)	26	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、木づかいガイドライン ○基調講演「ウルフルな木づかいからデジタルな森づくり村づくりを」 ○基調講演の後、矢作川流域圏の木づかい・森づくりのキーパーソンとのディスカッションを行った
平成26年度	10月17日 18日	WG山	第21回山部会WG(岡崎)	32	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○「山村再生担い手づくり事例集」は、事例集の取材先候補として21団体(流域連携の面から川・海の団体も取材先を含む)を選定し、取材先と取材者のマッチングを行った
平成26年度	11月21日	WG山	第22回山部会WG(恵那)	16	【現地調査】 ○岡崎市内の特徴的な森づくり(宮崎財産区林、巴山・分水嶺、長坂100年長伐期林、ミンマタ長伐期林)
平成26年度	12月19日	WG山	第23回山部会WG(豊田)	—	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、木づかいガイドライン ○森づくりガイドラインでは、矢作川流域圏にどのような森があるか等、特徴的な森づくりに関するリストを作成した
平成27年度	5月15日	WG山	第24回山部会WG(豊田)	17	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、木づかいガイドライン ○基調講演「矢作川流域における生態系サービス供給」
平成27年度	8月11日	WG山	第25回山部会WG(根羽)	13	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○山村ミーティングについて山川流域フェスティバルの開催ができるよう検討を進めている ○矢作川流域圏森づくりガイドラインについてシンポジウムの紹介をした
平成27年度	7月24日	WG山	第26回山部会WG(豊田)	13	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域圏森づくりガイドラインについて岡崎市と恵那市の間伐面積は、過去最低となっている ○矢作川流域圏木づかいガイドライン 木づかい学習会について各自自治体で推進しており、動くおもちゃは県の補助事業に採択された
平成27年度	8月21日	WG山	第27回山部会WG(岡崎)	16	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○山村再生担い手づくり事例集作成について、年度内に20件以上の活動団体(川・海の団体も含む)への聞き取りとレポート作成を行う
平成27年度	9月25日 26日	WG山	第28回山部会・海部会合同WG(蒲郡)	28	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○海岸の観察、漁業組合・漁業者の方々との懇談
平成27年度	10月16日 17日	WG山	第29回山部会WG(岡崎)	28	【現地調査】 ○トンボロ干潟 【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン 【現地調査】岡崎市額田地区 ○千万町地区の砂防堰堤 ○切山の犬杉 ○乙川(西風橋周辺)の水量の減少
平成27年度	11月27日	WG山	第30回山部会WG(豊田)	19	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○森づくりガイドラインに関連して、以下の情報提供と検討を行う①全国植樹祭に関する中日新聞(岐阜地方版)の記事紹介、②豊田市中核製材工場の稼働開始、豊田市森林計画のリニューアル、③岐阜県民協働による森の通信簿事業、④恵那市の森づくり推進委員会の現況、⑤矢作川流域の特徴的な森林、樹木の地図上での表現方法の検討
平成27年度	12月21日	WG山	第31回山部会WG(豊田)	18	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○木づかいガイドラインの進捗の報告①流域のさし(どのような木を用いて、どのように製するか)、②あそべるとよたDAYSのその後(プレイスメイキングの効果と展開)、③次世代を担う子供たちにとその親に向けて、④林業立村シンポジウム(於：十津川村)の事後報告
平成28年度	5月27日 28日	WG山	第32回山部会WG(豊田)	17	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン ○山村ミーティング 流域に関わるお祭りの実施、流域すべての森林組合の作業班を対象にヒアリングを行う
平成28年度	6月17日	WG山	第33回山部会WG(豊田)	15	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○恵那市達原溪谷「喉の滝」崩壊箇所・上矢作の天然水「福寿の清水」、根羽村明治用水水源かん養保安林
平成28年度	7月22日 23日	WG山	第34回山部会WG(根羽)	15	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○山村再生担い手づくり事例集 “山村再生担い手づくり事例集”の後のいかお過ごしですか?」プロジェクト”を立ち上げた
平成28年度	9月16日	WG山	第35回山部会WG(恵那)	14	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○山村再生担い手づくり事例集 主な取材内容 前回の取材後、どのような変化があったか?、前回の取材時の課題は解決したか?、現在の課題は何か?、山村再生担い手づくり事例集の活用に関する意見は?
平成28年度	10月7日 8日	WG山	第36回山部会WG(岡崎)	24	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン ○矢作川流域圏木づかいガイドラインについて①矢作川流域圏における近年の間伐面積の実績②森づくりガイドラインのアウトライン③近自然森林管理において推奨される水道水源の質と量に関する指標と森林管理 ④豊田市における100年の森づくり構想の見直し⑤岡崎市水循環推進協議会 緑のダム部会の進捗状況報告
平成28年度	11月25日	WG山	第37回山部会WG(根羽)	12	【現地調査】 ○岡崎市内のウッドデザインパークと間伐材利用コンクール作品展示会(岡崎市林務課)を視察した
平成28年度	12月16日 17日	WG山	第38回山部会WG(豊田)	17	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域圏森づくりガイドラインについて①岡崎市で実施された「水源林を考える会」の活動報告②桂川流域フォーラムのお知らせ③国の水循環施策に関する最新情報④神奈川県山北町の勉強会に向けて 【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域圏木づかいガイドラインについて①森林資源のフル活用に向けて、スギの用途を広げるビジネスアイデアソンについて②木材の水辺活用の提案について③田舎の先生制度について 【現地調査】 ○足助きこり塾(人工林、雑木林、大工塾による製材所やびざ釜を見学) ○あさひ森の健康診断報告会(旭地区の森の健康診断報告会へ出席)



山部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成29年度	5月19日 20日	WG山	第39回山部会WG(恵那)	22	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○山村ミーティングでは、昨年度に引き続き、矢作川流域林業担い手ヒヤリングの2項目の実現に向けて活動していく 【現地調査】 ○花白温泉(間伐材の利活用)に関して、地産地消の仕組みを学んだ)
平成29年度	6月23日	WG山	第40回山部会WG(豊田)	21	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域木づかいガイドラインについて(1)国際ウッドフェアへの参加 (2)根羽スキセレーション(カタログ)完成報告(3)根羽スギにおける森林認証(SGEC)と木材流通認証(COC)の取得(4)木を使った市民参加型のプレイスメイキング(ブックボックスの活用)(5)安城市図書館(アンフォール)オープニングフェスへの出席
平成29年度	7月28日 29日	WG山	第41回山部会WG(根羽)	17	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○流域再生担い手づくり事例集について 調査対象を山から流域に拡大する必要性があることから『山村再生』から『流域再生』に変更することになった。7月18日に行われた第40回川部会ワーキングでは、川の地先の問題に対して、事例集の作成を呼びかけた 【現地調査】 ○信州大学の研究フィールド(森林路網と植物の種多様性)について、状況確認を行った) ○帯状間伐の実施状況(帯状間伐の成果と課題)について、状況確認を行った)
平成29年度	9月8日 9日	WG山	第42回山部会WG(恵那)	13	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域木づかいガイドラインについて①スキダラキヤラパンの進捗状況年間36回の出勤を予定②木づかいガイドラインの作成依頼③木を使った市民参加型プレイスメイキング④事例紹介⑤その他 【現地調査】 ○天竜川竹の工芸と竹いかだ ○竹炭づくり・竹ボイラーによるお風呂&シャワー
平成29年度	10月13日 14日	WG山	第43回山部会WG(岡崎)	42	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域圏の森づくりガイドライン・矢作川流域圏の森づくりについての基本的考え方・皆伐一斉造林についての考え方・搬出間伐についての考え方・伐り置き間伐についての考え方 【現地調査】 ○岡崎市ぬかた体験村
平成29年度	11月10日	WG山	第44回山部会WG(根羽)	11	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域木づかいガイドラインについて①木を使った市民参加型プレイスメイキング木づかいライブについて②田舎とまらの木づかいプレイスメイキング③田舎のプレイスメイキングの参加について④活動拠点となる小屋について
平成29年度	12月15日 16日	WG山	第45回山部会WG(豊田)	27	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン ○流域圏担い手づくり事例集 取材団体同士と取材団体と取材者の繋がり深化を目的とした事例集交流会について 【現地調査】 ○豊田市農家民宿ちんちんやん亭、あさひ森の健康診断報告会
平成30年度	5月18日 19日	WG山	第46回山部会WG(根羽)	10	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○山村ミーティングでは、今年度も矢作川感謝祭の開催を支援する。また、矢作川林業担い手100人ヒヤリングについては、ひきつづき森林組作業班を中心に取材を行う 【現地調査】 ○根羽村水源の森、山地酪農
平成30年度	6月8日	WG山	第47回山部会WG(豊田)	21	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域森づくりガイドラインについて①新しい森林区分(ゾーニング)の設定 ②人工林の整備状況の評価と目標の再設定 ③人工林の目標林型の設定と将来木施業(新たに追加された概念)の導入 ④木材生産・流通の低コスト化⑤森林保全のルールの新規設定 ⑥森づくり人材の育成
平成30年度	7月6日	WG山	第48回山部会WG(恵那)	17	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域森づくりガイドラインについて岐阜県恵那那農林事務所森林保全課長の小島徳文様から情報を提供いただいた。・矢作川流域の治山事業に関して・森林環境護と税と新たな森林管理システムに関して
平成30年度	11月16日 17日	WG山	第49回山部会WG(岡崎)	16	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域山村ミーティングについて①平成30年岡崎森林組合員の山林管理に関するアンケート②「矢作川流域林業就労中堅離職問題実態調査」～矢作川流域林業担い手100人ヒヤリング～ 【現地調査】 ○岡崎市みかわエコ薪、貯木場
平成30年度	12月7日 8日	WG山	第50回山部会WG(豊田)	11	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン ○山部会9年間の活動と成果○ 【現地調査】 ○豊田市神殿(かんの)の森づくり会議の現場見学、岡崎市内おさき森の健康診断報告会への参加
平成31年度	6月22日	WG山	第51回山部会WG(岡崎)	23	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○平成30年度の活動進捗報告及び今年度の活動計画 ○山部会9年間の取り組みと成果(概要・詳細) ○地域部会と市民部会の共通の成果としての年表の作成
平成31年度	7月19日 20日	WG山	第52回山部会WG(根羽)	13	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○矢作川流域圏年表の素案について ○2019矢作川感謝祭における報告に関して 【現地調査】 ○根羽村どこでもサウナ
平成31年度	10月25日 26日	WG山	第53回山部会WG(豊田)	16	【意見交換】山村再生担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン、木づかいガイドライン ○10年誌編集委員会活動進捗報告 ○川部会、海部会に紹介したい事例や場所に関する意見交換 【現地調査】 ○トンカン木工塾見学、森の健康診断報告会
平成31年度	12月6日 7日	WG山	第54回山部会WG(恵那)	22	【意見交換】流域圏担い手づくり事例集、山村ミーティング、森づくりガイドライン ○昨年度成果「もう少しでできたこと、できなかったこと」への対応について 【現地調査】 ○明智城址

平成22年度	12月17日	勉強会	第1回勉強会(山地域)	50	山側からの報告・問題提起 ○ 奥矢作森林塾の活動～山村再生の取り組み(奥矢作森林塾代表 大島光利氏) ○ 生命の源流の地に生きる～百姓を育てる(BIO de BIO 代表 黒田武儀氏) ○ 人工林問題に取り組み～ヤマの応援団づくり(矢作川水系森林ボランティア協議会副代表 稲垣久義氏) 研究者からの問題提起・課題の整理 (東京大学愛知演習林 林長 蔵治光一郎氏)
平成23年度	8月27日	勉強会	第4回勉強会(山地域)	39	テーマ:源流から海まで、2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー ○「人工林の基礎知識」の話 ○「人工林の現状(森の健康診断の成果から)」の話 ○「森の健康診断」体験 ○矢作川対岸の「間伐跡地及び作業道見学」 ○パネルディスカッション
平成23年度	9月23日 24日	勉強会	第5回勉強会(川地域)	64	テーマ:源流から海まで、2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー ○茶臼山根羽川源流碑 ○矢作ダム、土砂起土実験 ○古巣水辺公園、百々貯木場跡 ○豊田大橋河畔林整備、豊田防災ステーション ○明治用水頭首工 ○青木川、家下川、乙川、矢作古川 ○ヨシ原再生、油が淵

山部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成23年度	12月12日	勉強会	第6回勉強会(山地域)	43	テーマ:今後の河川事業を学ぶ会 ○矢作川水系河川整備計画について ○矢作川流域内の県河川整備計画の説明
平成25年度	8月10日	勉強会	第10回勉強会	24	テーマ:生き物調査 ○矢作川上流域の柳川周辺_砂防堰堤直下の溪流での水生昆虫調査
平成26年度	7月1日	勉強会	第12回勉強会	51	講演 ○矢作川流域の現状と課題の全体像について(辻本全体会議座長)
平成26年度	12月15日	勉強会	第13回勉強会	42	テーマ ○矢作川河川整備計画を学ぶ
平成30年度	8月24日	勉強会	合同部会	45	テーマ ○アサリはなぜ減少したのか?(名城大学 鈴木氏) ○シジミ、アサリを増やす森と里からの湧水(伊勢・三河湾流域ネットワーク 井上氏) ○矢作川本川の水質と流域構造を知ろう!(大同大学 吉川氏) ○矢作川中流域の水質を知ろう!(豊田市矢作川研究所 白金氏データ) ○森林が変化すると水質はどう変化する?(東京大学 蔵治氏)

川部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成23年度	7月2日	WG川	第1回川の意見交換WG	14	【意見交換】 ○市民川部会の運営方法について ○課題解決手法等について ○川の勉強会の具体化について
平成23年度	8月12日	WG川	第2回川の意見交換WG	14	【意見交換】 ○今後の川地域の運営方針について ○まずやってみよう課題について ○横討テーマ (2) 検討の進め方
平成23年度	10月14日	WG川	第3回川の意見交換WG	17	【意見交換】 ○まずやってみよう課題について ・地先の課題である「河川空間の利用・保全のあり方」について ・魚の住みやすい川づくりをテーマとした上下流問題について
平成23年度	12月14日	WG川	第4回川の意見交換WG	10	【意見交換】 ○今後の川地域の運営方針について ○まずやってみよう課題の進め方について(モデル地区について) ・本川モデル地区＝越戸ダム～鶴の首 ・支川モデル地区＝家下川
平成23年度	1月9日	WG川	第5回川の意見交換WG	20	【現地視察】 ○本川モデル地区＝越戸ダム、古巣水辺公園対岸、竜川の魚道、豊田スタジアム前、鶴の首 ○支川モデル地区＝家下川
平成24年度	5月18日	WG川	第1回川部会WG	24	【現地視察】家下川モデル ○家下川流域(説明:矢作川水族館 阿部夏丸氏) 柳川瀬公園と承水溝、土砂・植生設置箇所、水路マス設置箇所、水田魚道設置箇所 上流区間(県管理区間)
平成24年度	6月23日	WG川	第2回川部会WG	33	【現地視察】本川モデル ○河道掘削箇所の白浜工区、野見工区
平成24年度	7月15日	WG川	第3回川部会WG	23	【意見交換】家下川モデル ○家下川の整備状況と将来計画(愛知県豊田加茂建設事務所) ○承水溝、柳川瀬公園周辺の整備状況(豊田市河川課) ○家下川リバーキーパーズの活動報告(矢作川水族館)
平成24年度	8月23日	WG川	第4回川部会WG	23	【意見交換】本川モデル ○アユの生態について(矢作川研究所 山本氏) ○土砂とアユの生息環境、漁協の取り組みについて(矢作川漁業協同組合 新見氏) ○矢作川における生物生息環境について(愛知工業大学 内田副座長)
平成24年度	9月21日	WG川	第5回川部会WG	32	【現地視察】本川モデル ○古巣水辺公園下流部(アーモコート化) ○高橋上流右岸(瀬と本川モデル淵、ワンド) 【意見交換】本川モデル ○土砂関係について(国土交通省) ○利水状況について(国土交通省) ○水産資源の持続的再生について(矢作川漁協) ○豊田市矢作川環境整備計画について(豊田市河川課) ○支川(安永川)合流部の段差について(豊田市河川課) ○矢作川における外来種と既存種の生息状況について(矢作川研究所)
平成24年度	10月26日	WG川	第6回川部会WG	19	【意見交換】家下川モデル ○家下川、承水溝、柳川瀬公園周辺の地下水位について(豊田市) ○家下川、承水溝、柳川瀬公園周辺の洪水時の管理について(国交省、愛知県、豊田市) ○家下川における活動の近況(矢作川水族館)
平成24年度	11月2日	WG川	第7回川部会WG	19	【意見交換】本川モデル ○矢作川本川と龍川の魚種の変遷について(矢作川研究所より情報提供) ○矢作川本川の課題と解決策について(グループ討議) ○今後の取り組みの方向性について
平成24年度	12月14日	WG川	第8回川部会WG	21	【意見交換】家下川モデル ○家下川の課題と解決策について ○今後の取り組みの方向性について 【現地視察】地先の課題バスツアー ○美矢井橋下流の現状と課題 ○矢作古川分派施設 ○乙川周辺における活動の現状と課題 ○日名橋周辺における活動の現状と課題 ○家下川合流点の段差解消
平成25年度	5月17日	WG川	第9回川部会WG	19	【現地視察】本川モデル ○安永川排水樋門 ○渡合地区の災害復旧事業現場
平成25年度	6月13日	WG川	第10回川部会WG	19	【現地視察】家下川モデル ○柳川瀬公園付近 ○家下川合流点の段差改善箇所 ○県・市管理境界付近
平成25年度	7月12日	WG川	第11回川部会WG	21	【現地視察】本川モデル ○豊田大橋周辺の瀬淵、ワンド、砂州 ○高橋上流の瀬・淵 ○市木川、加茂川、大見川の支川合流部
平成25年度	8月26日	WG川	第12回川部会WG	19	【意見交換】家下川モデル ○承水溝、長池の段差解消、長池の水位設定、水源確保について ○土地改良区への提案
平成25年度	9月22日	WG川	第13回川部会WG	20	【現地視察】地先モデル ○古巣水辺公園(古巣水辺愛護会) ○有間水辺愛護会 ○小渡水辺愛護会 ○御立公園(白浜工区) _ 矢作川森林塾
平成25年度	10月18日	WG川	第14回川部会WG	23	【現地視察】本川モデル ○矢作川 高橋右岸付近 台風18号被災状況 ○県管理区間 代表的な瀬と淵 【意見交換】本川モデル ○瀬と淵について
平成25年度	11月26日	WG川	第15回川部会WG	22	【意見交換】本川モデル ○瀬と淵について 【意見交換】家下川モデル ○家下川リバーキーパーズ(阿部さんからの情報提供)

川部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成25年度	12月20日	WG川	第16回川部会WG	16	【意見交換】 ○地先モデル：専門家リストについて ○家下川モデル：家下川リバーキーパーズの活動報告 ○本川モデル：白浜工区、河川環境の方向性について
平成26年度	5月30日	WG川	第17回川部会WG	25	【意見交換】 ○今年度の活動計画について ○市民企画会議からの報告、提案について 流域連携テーマの担当者 ぐみ・流木：内田氏 土砂：(案)矢作川漁協関係者 木づかい：光岡氏 ○家下川 湛水防除事業(上郷2期地区)について
平成26年度	6月27日	WG川	第18回川部会WG	25	【現地調査】本川モデル ○矢作川本川の白浜工区、渡合対岸地区、加茂川合流点段差 【意見交換】本川モデル ○矢作川森林塾の活動について(矢作川森林塾 裕氏) ○加茂川合流点の段差解消について ○渡合対岸地区について
平成26年度	8月25日	WG川	第19回川部会WG	28	【現地調査】本川モデル ○矢作川久澄橋付近の瀬(矢作川漁協 木戸氏) 【意見交換】本川モデル ○瀬、淵の現状と課題、今後の方向性
平成26年度	8月29日	WG川	第20回川部会WG	17	【現地視察/意見交換】地先モデル ○鳥川ホタル保存会 ○鹿乗川を美しくする会 ○活動団体アンケートと専門家リスト
平成26年度	9月26日	WG川	第21回川部会WG	19	【意見交換】家下川モデル ○家下川、承水溝、長池の状況と段差解消に向けた課題、方向性について 【意見交換】地先モデル ○活動団体アンケートについて
平成26年度	10月31日	WG川	第22回川部会WG	23	【意見交換】本川モデル ○久澄橋下流の地形の現状、測量成果について(鷲見副座長) ○豊田市矢作川河川環境活性化プラン検討委員会について(矢作川研究所)
平成26年度	11月14日	WG川	第23回川部会WG	13	【現地視察/意見交換】地先モデル ○青木川を守り美しくする会 ○梅坪水辺愛護会
平成26年度	12月22日	WG川	第24回川部会WG	23	【意見交換】本川モデル ○矢作川水系における総合土砂管理
平成27年度	5月29日	WG川	第25回川部会WG	21	【意見交換】 ○平成27年度のテーマ別の活動方針について ○WGの進め方および山川海の流域連携について
平成27年度	6月29日	WG川	第26回川部会WG	27	【意見交換】家下川モデル ○上郷排水機場の改修工事について 設計内容の説明(豊田加茂農林水産事務所建設課) 改修工事の際の越冬魚への対応＝魚の回避方法や段差の解消方法 豊田市河川課、農地整備課、公園課を交えた検討の必要性
平成27年度	8月6日	WG川	第27回川部会WG	17	【現地視察】 ○小笠ダム(土砂バイパストンネル) ○中央構造線博物館
平成27年度	9月29日	WG川	第28回川部会WG	20	【意見交換】本川モデル ○加茂川合流点の段差解消について 自然石を用いた柵田式魚道の利点 ○総合土砂管理検討の概要報告
平成27年度	10月13日	WG川	第29回川部会WG	21	【意見交換】家下川モデル ○上郷排水機場の改修工事について 川部会WGの意見をふまえた設計変更内容の説明(豊田加茂農林水産事務所建設課) ○承水溝、長池(ひょうたん池)等の段差の解消について
平成27年度	11月11日	WG川	第30回川部会WG	19	【意見交換】本川モデル ○矢作古川頭首工(魚道設置予定地) ○矢作古川分派施設(施工中)
平成27年度	12月18日	WG川	第31回川部会WG	20	【意見交換】本川モデル ○白浜地区モニタリング成果の報告(大同大学鷲見研究室) ○豊田市矢作川河川環境活性化プラン(矢作川研究所)
平成28年度	7月8日	WG川	第32回川部会WG	26	【意見交換】 ○平成28年度の川部会WG計画 ○山川海の流域連携について
平成28年度	8月5日	WG川	第33回川部会WG	21	【意見交換】本川モデル ○豊田市矢作川河川環境活性化プランについて
平成28年度	9月23日	WG川	第34回川部会WG	27	【意見交換】家下川モデル ○上郷排水機場の改修工事について 昨年度意見を反映した設計内容の説明(豊田加茂農林事務所) 【現地視察】家下川モデル ○上郷排水機場の改修工事予定地、承水溝周辺の段差、ひょうたん池
平成28年度	10月14日	WG川	第35回川部会WG	19	【現地視察/意見交換】本川モデル ○加茂川の堰上げ式魚道施工状況 ○矢作川本川の状況について 白浜工区柵削直後から現在までの河道状況の変遷 久澄橋下流の右岸側で実施されている竹林伐開箇所の状況、高橋上流における石組理設の試験施工箇所
平成28年度	11月11日	WG川	第36回川部会WG	23	【意見交換】本川モデル ○広域サイクリングロード(自転車、歩行者道)構想について ○高橋周辺の河道保全対策について
平成28年度	12月9日	WG川	第37回川部会WG	24	【意見交換】本川モデル ○総合土砂管理計画：平成28年台風16号出水時に実施された給砂実験について情報提供 ○白浜地区モニタリング成果の報告(大同大学鷲見研究室)
平成29年度	5月26日	WG川	第38回川部会WG	25	【意見交換】本川モデル ○阿摺ダム下流(ソジバ)におけるアユの生息環境改善実験について
平成29年度	6月30日	WG川	第39回川部会WG	21	【現地視察/意見交換】家下川モデル ○上郷排水機場の改修工事について 工事の進捗状況についての説明(豊田加茂農林事務所) WGから要望した環境面での配慮事項の確認

川部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成29年度	7月18日	WG/川	第40回川部会WG	14	【意見交換】地先モデル ○流域再生担い手づくり事例集の紹介と今後の取組み 矢作川研究所の洲崎主任研究員からの紹介 【講演】 ○関係性を築く聴き方について(矢作川研究所 吉橋研究員)
平成29年度	8月23日	WG/川	第41回川部会WG	16	【意見交換】地先モデル ○川関係の活動団体リストの情報共有(最新の活動団体リストの更新) ○流域再生担い手づくり事例集の取材先候補の選定
平成29年度	9月29日	WG/川	第42回川部会WG	24	【現地視察/意見交換】本川モデル ○矢作古川分派施設 ○矢作古川頭首工魚道
平成29年度	10月27日	WG/川	第43回川部会WG	18	【現地視察/意見交換】本川モデル ○加茂川水門 堰上げ式魚道の設置状況の説明を ○豊田市『矢作川水辺まちづくり計画』に関する国との連携範囲の見学
平成29年度	11月28日	WG/川	第44回川部会WG	20	【現地視察/意見交換】本川モデル ○阿摺ダム下流(ソジバ)におけるアユの生息環境改善実験結果
平成29年度	12月19日	WG/川	第45回川部会WG	14	【意見交換】本川モデル ○矢作ダムの給砂実験について ○流域圏担い手づくり事例集の進捗状況について
平成30年度	5月25日	WG/川	第46回川部会WG	14	【意見交換】 ○今年度の川部会の活動方針について ○9年間の活動の総括と今後の活動の方向性について ○合同部会について 川部会から矢作川の水質について話題提供する
平成30年度	7月27日	WG/川	第47回川部会WG	19	【意見交換】本川モデル ○阿摺ダム下流アユ生息環境改善実験について(豊田市矢作川研究所) ○矢作川総合土砂管理について(豊橋河川事務所) ○矢作川古巣水制工について(愛知・川の会)
平成30年度	10月30日	WG/川	第48回川部会WG	19	【現地視察/意見交換】本川モデル ○高橋上流から久澄橋下流までの河道掘削および樹木伐開施行区間 ○9年間のとりまとめ
平成30年度	12月18日	WG/川	第49回川部会WG	19	【現地視察】家下川モデル ○家下川へ歩いて観る、診る、体感するエコツアー～ 【意見交換】 ○9年間のとりまとめ

平成22年度	3月4日	勉強会	第2回勉強会(川地域)		講演)大同大学 鷲見准教授による「私から見た矢作川」 活動発表) 「矢作川治水史研究会」 「家下川を美しくする会」 「矢作川環境技術研究会」 「早川をよみがえらせる会」
平成23年度	9月23日	勉強会	第5回勉強会(川地域)	64	テーマ: 源流から海まで、2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー ○茶臼山根羽川源流碑 ○矢作ダム、土砂起土実験 ○古巣水辺公園、百々貯木場跡 ○豊田大橋河畔林整備、豊田防災ステーション ○明治用水頭首工 ○青木川、家下川、乙川、矢作古川 ○ヨシ原再生、油が淵
平成23年度	12月12日	勉強会	第6回勉強会(川地域)	35	テーマ: 今後の河川事業を学ぶ会 ・矢作川水系河川整備計画について ・矢作川流域内の泉河川整備計画の説明
平成24年度	7月22日	勉強会	第7回勉強会	55	テーマ: 矢作川の土砂問題について ・総合的な土砂管理の取り組み ・矢作川の流域の概要 ・矢作川の土砂に関する現状と課題 ・矢作川水系土砂管理プラン策定 ・矢作川流砂系の目指すべき姿(案) ・目指すべき姿にするための検討事例
平成24年度	8月6日	勉強会	第8回勉強会	43	テーマ: 矢作川の土砂問題について ・川部会鷲見部会長による講義
平成25年度	8月10日	勉強会	第10回勉強会	24	テーマ: 生き物調査 矢作川上流域の柳川周辺_砂防堰堤直下の溪流での水生昆虫調査
平成26年度	7月1日	勉強会	第12回勉強会	51	講演 ○矢作川流域の現状と課題の全体像について(辻本全体会議座長)
平成26年度	12月15日	勉強会	第13回勉強会	42	テーマ ○矢作川河川整備計画を学ぶ
平成30年度	8月24日	勉強会	合同部会	45	テーマ ・アサリはなぜ減少したのか? (名城大学 鈴木氏) ・シジミ、アサリを増やす森と里からの湧水(伊勢・三河湾流域ネットワーク 井上氏) ・矢作川本川の水質と流域構造を知ろう!(大同大学 吉川氏) ・矢作川中流域の水質を知ろう!(豊田市矢作川研究所 白金氏データ) ・森林が変化すると水質はどう変化する?(東京大学 蔵治氏)

海部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成23年度	10月12日	WG海	第1回海の意見交換WG	9	【意見交換】 ○漁業関係者、企業等の巻き込み方に関する意見・提案 ○市民の巻き込み方に関する意見・提案 ○やってみよう課題(案)について
平成23年度	12月15日	WG海	第2回海の意見交換WG	19	【意見交換】 ○西三河支部漁協組合長との意見交換 ○海地域等における懇談会メンバーと海の民(漁民)との連携方法
平成23年度	2月16日	WG海	第2回海の意見交換WG	10	【意見交換】 ○ごみ・流木調査について ○生きもの調査について
平成24年度	4月21日	WG海	第1回海部会WG	資料なし	【その他】 ○矢作川ヨシ植え作業
平成24年度	7月5日	WG海	第2回海部会WG	12	【意見交換】 ○平成24年度の行動計画とその具体化 ○漁協連携や進め方などについて
平成24年度	7月7日	WG海	第3回海部会WG	資料なし	【その他】 ○三河湾環境再生プロジェクト「海の観察会」参加
平成24年度	8月12日	WG海	第4回海部会WG	17	【現地視察】 ・矢作川流域圏の海地域一帯を視察 ・矢作川河口部右岸(碧南市側) ・人工干潟(おさかな広場西側) ・一色衣崎海岸 ・(経由)矢作古川河口部・吉田海岸 ・吉良歴史民俗資料館 ・東幡豆漁港
平成24年度	9月8日	WG海	第5回海部会WG	資料なし	【その他】 ○22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 答志島奈佐の浜海岸清掃
平成24年度	11月5日	WG海	第6回海部会WG	14	【意見交換】 ○ゴミ、流木の課題について ○生き物調査について ○海と人の絆再生(アクセス改善)について
平成24年度	12月11日	WG海	第7回海部会WG	24	【意見交換】 ○課題の今後の対応について ○その他の課題の取扱いについて ○次年度以降の活動方針、流域連携テーマについて
平成25年度	5月20日	WG海	第8回海部会WG	20	【意見交換】 ○今年度の海部会WGの活動方針、活動内容について
平成25年度	6月22日	WG海	第9回海部会WG	14	【意見交換】 ○今年度の海部会WGの活動計画 ○ごみ・流木調査プレ調査の実施方針について
平成25年度	7月20日	WG海	第10回海部会WG	13	【現地調査】 ○ごみ・流木プレ調査 - 佐久島白浜海岸 -
平成25年度	8月5日	WG海	第11回海部会WG	17	【現地調査】 ○生き物調査 - 東幡豆町天然干潟、西浦地区人工干潟 -
平成25年度	9月9日	WG海	第12回海部会WG	21	【現地調査】 ○三河湾 水質調査(水温、塩分、DO、クロロフィル)
平成25年度	9月27日	WG海	第13回海部会WG	9	【現地調査】 ○ごみ・流木調査)本調査 - 矢作川左岸 14.5K付近 - 9月中旬の台風に伴う出水によって堆積したごみ・流木
平成25年度	10月7日	WG海	第14回海部会WG	14	【現地調査】 ○干潟生き物調査 - 矢作川河口干潟(0.6K付近左岸 -
平成25年度	11月27日	WG海	第15回海部会WG	21	【現地視察】 ○矢作ダムの流入土砂の状況 ○土砂受入地の榊野地区の受入状況
平成25年度	12月26日	WG海	第16回海部会WG	15	【意見交換】 ○H25年度の活動とりまとめ ○次年度の活動方針
平成26年度	5月19日	WG海	第17回海部会WG	18	【意見交換】 ○今年度の活動計画について ○市民企画会議からの報告、流域連携テーマの担当者について ごみ・流木:伊勢・三河湾流域ネットワーク)井上氏 土砂:大阪大学)青木座長 名城大学)鈴木副座長 木づかい:東幡豆漁協)石川組合長
平成26年度	6月15日	WG海	第18回海部会WG	30	【現地調査】 ○ごみ・流木調査本調査=西の浜海岸 ※22世紀奈佐の浜プロジェクト「西の浜エクスカーション」との同時開催
平成26年度	7月22日	WG海	第19回海部会WG	21	【意見交換】 ○ごみ・流木調査の結果と今後の進め方 ○子供の干潟体験イベント 【講義】 ○干潟・浅場造成に関する検討状況(三河港湾事務所) ○三河湾環境再生プロジェクト行動計画(名城大学 鈴木副座長)
平成26年度	8月9日	WG海	第20回海部会WG	5	【その他】 ○東幡豆漁業組合主催の干潟観察会に参加(8/12にも開催)
平成26年度	9月5日	WG海	第21回海部会WG	13	【現地視察】 ○鳥類から見る海の調査 - 衣崎漁港、矢作古川河口 - (西三河野鳥の会 高橋氏) 【意見交換】 ○鳥類から見る海の調査の感想 ○干潟観察会の結果
平成26年度	10月11日	WG海	第22回海部会WG	13	【現地調査】 ○佐久島白浜海岸でのごみ・流木調査 ※愛知県主催「佐久島の海岸でわくわくビンゴ&アート体験」との同時開催
平成26年度	11月19日	WG海	第23回海部会WG	20	【意見交換】 ○愛知県)西浦人工干潟の土壌改善に向けた情報提供 ○三河湾干潟造成に向けた検討
平成26年度	12月17日	WG海	第24回海部会WG	15	【意見交換】 ○愛知県)三河湾の海底ゴミ、生き物調査について ○三河湾干潟造成に向けた検討
平成27年度	6月6日	WG海	第25回海部会WG	20	【意見交換】 ○ごみ・流木問題の活動方針について ○豊かな海の生物調査の活動方針について ○海と人との絆再生の活動方針について ○干潟・ヨシ原再生の活動方針について

海部会の活動実績

年度	日付	分類	会議名	参加人数	概要
平成27年度	8月20日	WG海	第26回海部会WG	19	【意見交換】 ○山部会との合同WGについて ○造成干潟のモニタリングについて ○造成後の地形変遷の計測方法、市民への啓発方法について
平成27年度	9月13日	WG海	第27回海部会WG	4	【その他】 ○海のいきもの調査隊(西尾市)への参加
平成27年度	12月25日	WG海	第27回海部会WG	16	【意見交換】 ○干潟・ヨシ原再生について 矢作川における河道掘削で生じる土砂を干潟造成に活用 ○ごみ・流木の問題 ごみマップによる情報共有) ○海と人との絆再生 『砂の駅の実体化』について ○豊かな海の生物調査について 造成干潟における生物モニタリング調査の時期、活動主体について
平成28年度	4月27日	WG海	第30回海部会WG	16	【意見交換】 ○活動計画について 【現地視察】 ・矢作ダム堆砂砂を利用した造成干潟(東幡豆)
平成28年度	6月21日	WG海	第31回海部会WG	18	【意見交換】 ○宍道湖の漁獲回復に関する事例紹介 ヤマトシジミの漁獲減少に対する対策 ○海の水質調査について ○「奥矢作森林フェスティバル」への参加について 東幡豆漁協石川組合長 海の生き物展示
平成28年度	11月2日	WG海	第32回海部会WG	26	【意見交換】 ○東幡豆干潟造成箇所のモニタリング調査結果報告 ○矢作川河口干潟造成箇所のモニタリング調査結果報告 ○川ごみ・海ごみ対策について JEAN、全国川ごみネットワークから近年のごみ問題について話題提供
平成28年度	12月20日	WG海	第33回海部会WG	16	【意見交換】 ○西浦での矢作ダム砂を使った試験区の経過(愛知県水産試験場) ○小学生向けゴミの学習プログラムの紹介(愛知県資源環境推進課) ○矢作ダムの直下で実施されている給砂実験の紹介
平成29年度	6月24日	WG海	第34回海部会WG	19	【現地調査】 ○藤前干潟の清掃活動の参加
平成29年度	8月21日	WG海	第35回海部会WG	19	【講義】 ○鳥と海の環境について(西三河野鳥の会 高橋氏) 【現地視察】 ○トンボロ干潟の造成箇所の確認 ○鳥の観察
平成29年度	12月13日	WG海	第36回海部会WG	20	【意見交換】 ○海の栄養塩に関する最近の問題について(鈴木副座長) アサリの漁獲量の減少の要因に関する情報共有 ○水質浄化に関する最近の研究事例(井上氏)
平成30年度	7月30日	WG海	第37回海部会WG	20	【現地視察】 ○吉田海岸のアサリ漁場(吉田漁業協同組合 石川組合長) 【意見交換】 ○愛知県水産試験場の調査結果の概要説明(石田氏) アサリの減少と陸域から供給される栄養塩の関係について ○合同部会の開催について
平成30年度	10月24日	WG海	第38回海部会WG	19	【現地視察】 ○吉田海岸のアサリ漁場の現地視察(吉田漁業協同組合 石川組合長) 【意見交換】 ○アサリの漁獲量の減少と栄養塩の関係性 ○海部会の9年間のまとめについて
平成30年度	12月19日	WG海	第39回海部会WG	17	【意見交換】 ○矢作川浄化センターの管理運転による海への影響 ○三河湾で不漁となったアサリの餌となるケイ藻のいま(井上氏) ○9年間のまとめ
平成31年度	8月7日	WG海	第40回海部会WG	22	【意見交換】 ○今年の三河湾におけるアサリの生息状況と海の環境(東幡豆漁協石川組合長、吉田漁協石川組合長)
平成31年度	9月18日	WG海	第41回海部会WG	20	【意見交換】 ○三河湾事務所における海の環境改善の取り組み ○今年の海の環境について(吉田漁業協同組合 石川組合長)
平成31年度	12月19日	WG海	第42回海部会WG	19	【現地視察】 ○矢作川浄化センター(愛知県西三河建設事務所 都市施設整備課 山本課長 ほか) 【意見交換】 ○のり漁場における近年の水質の変化について(吉田漁業協同組合 石川組合長)
平成23年度	7月2日	勉強会	第3回勉強会(海地域)		【現地視察】 ○一色干潟の見学 ○人口干潟(一色さかな広場西側海岸)の見学 ○矢作川干潟再生箇所の見学 ○矢作川浄化センター放流渠の見学
平成24年度	12月11日	勉強会	第9回勉強会	27	【講義】 ○技術市民から見た海の課題と対策技術案(伊勢三河湾流域ネットワーク 井上氏) ○三河湾の夏期における魚介類資源の現状(愛知県水産試験場 蒲原氏) ○三河湾における環境問題とその対応(名城大学 鈴木副座長)
平成27年度	9月25日	WG合同	第28回海部会WG (山部会WGとの合同)	28	【意見交換】 ○漁業組合、漁業者の方々と懇談 →漁業関係者から干潟、後継者不足等の漁村が抱える問題についての情報提供 【現地視察】(9/26) ○トンボロ干潟周辺踏査 ○トンボロ干潟～前島を踏査し、ごみ・流木の状況を把握 矢作ダムの堆積砂を用いた造成干潟の現況観察(形状把握のためのリングの埋設)
平成30年度	8月24日	勉強会	合同部会	45	【発表テーマ】 ○アサリはなぜ減少したのか?(名城大学 鈴木氏) ○シジミ、アサリを増やす森と里からの湧水(伊勢・三河湾流域ネットワーク 井上氏) ○矢作川本川の水質と流域構造を知ろう!(大同大学 吉川氏) ○矢作川中流域の水質を知ろう!(豊田市矢作川研究所 白金氏 蔵治氏) ○森林が変化すると水質はどう変化する?(東京大学 蔵治氏)